

2021年4月8日

「第五回花粉飛散傾向」を発表 3月31日までの総飛散量や症状のつらさを集計
西日本は来週にも、東日本や東北も4月下旬までに花粉ピーク越え
 ～高温傾向で飛散開始から一気に本格飛散へ、飛散量は2020年の3倍近く～

株式会社ウェザーニュース(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開 千仁)は、3月31日までのスギ・ヒノキ花粉の飛散状況と最新見解をまとめた「第五回花粉飛散傾向」を発表しました。毎日の飛散状況や飛散予報は、スマホアプリ「ウェザーニュース」やウェザーニュースウェブサイト「花粉 Ch.」から確認できます。

✔ポイント

1. 飛散予想:西日本は来週にも、東日本や東北も4月下旬までにピーク越え 北海道は4月中旬から飛び始め
2. 飛散時期:高温傾向で飛散開始から一気に本格化、花粉症の発症も早かった
3. 飛散量:昨年比3倍近くで大幅増、花粉症の症状もつらい傾向

毎日の花粉予報や花粉観測データはこちら

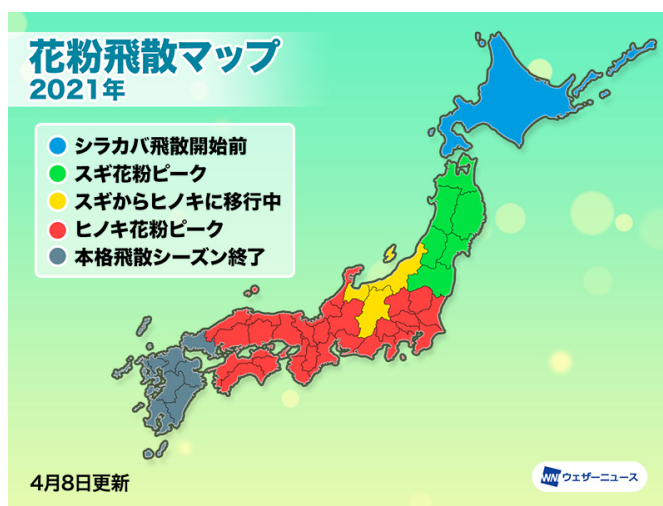
スマホアプリ「ウェザーニュース」を
ダウンロード後「花粉 Ch.」にアクセス

ウェザーニュースウェブサイト「花粉 Ch.」
<https://weathernews.jp/s/pollen/>

◆ 第五回花粉飛散傾向

<現在の飛散状況:関東～中四国はヒノキ花粉のピーク、東北はスギ花粉のピーク>

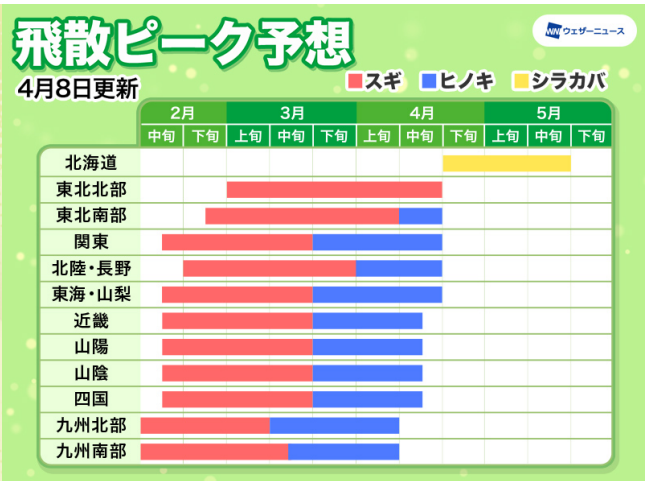
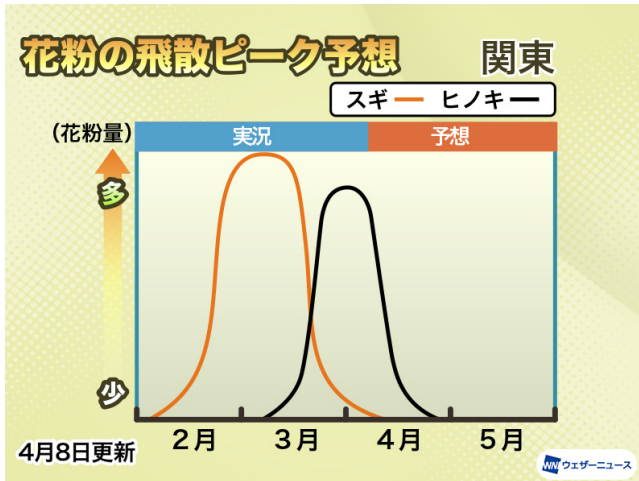
現在、東北から中国・四国の広い範囲で花粉が飛散しています。関東や東海、近畿、中国、四国ではスギ花粉の飛散がほぼ終了し、ヒノキ花粉が多く飛散しています。九州や山口県では花粉の本格飛散シーズンが終了しました。北陸や長野県ではスギ花粉に代わってヒノキ花粉が飛び始めており、東北ではスギ花粉の飛散ピークとなっています。なお、北陸や東北で春に飛散するのは主にスギ花粉で、ヒノキ花粉は元々少ない傾向にあります。一方、北海道のシラカバ花粉はまだ飛散が始まっていません。



<今後の飛散予想:西日本は来週にも、東日本や東北も4月下旬までに花粉ピーク越え>

今後、西日本における花粉の飛散量は徐々に減少し、あと一週間程度で飛散のピークを越えるとみられています。東日本や東北でも4月下旬までにほとんどのエリアで飛散のピークが終息する見込みです。

これから花粉シーズンを迎える北海道では、高温傾向の影響で4月中旬には道南や道央からシラカバ花粉が飛び始める予想です。飛散ピークは道南や道央で4月下旬から5月上旬、道北や道東では5月上旬から中旬で、ちょうどゴールデンウィークと飛散のピークが重なる可能性があります。5月下旬になると段々と飛散量は少なくなる見込みです。



◆ 今シーズンの飛散状況について

＜飛散時期：高温傾向で飛散開始から一気に本格化、花粉症の発症も早かった＞

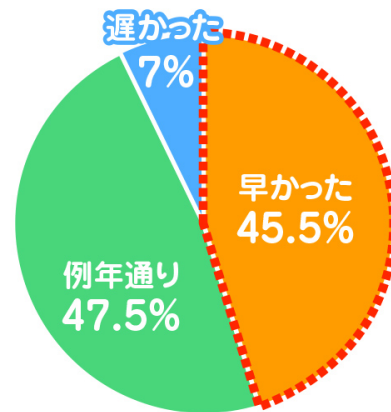
今シーズンの花粉飛散は北日本・西日本を中心に平年(※1)に比べて飛散開始が早かったこと、飛散開始から本格飛散までの期間が短かったことが特徴です。2月初めに関東や東海、九州でスギ花粉の飛散が始まり、2月中旬にかけて飛散エリアが拡大しました。西日本では飛散開始が平年より一週間程度早かったところが多くなりました。また、飛散開始から間もなく、花粉が大量に飛ぶ日が相次ぎ、本格飛散に突入したところが多くなりました。

2月は気温の変動が大きくなりましたが、断続的に暖かい空気が流れ込んで高温傾向となりました。

15℃を大きく上回るような日が度々訪れ、季節先取りの暖かさが飛散開始や飛散のピークが早まった要因であると考えられます。現在は、西・東日本のスギ花粉の飛散は徐々に終息に向かい、ヒノキ花粉が多く飛散しています。九州では早くも本格飛散シーズンが終了しました。

飛散時期による花粉症の発症時期への影響を調べるため、スマホアプリ「ウェザーニュース」で調査(※2)を実施したところ、「例年通り」が最も多いものの、約半数の方が「今年は発症が早かった」と感じていることがわかりました。

今年の花粉症、症状が出た時期は？



※1 花粉飛散の平年：2011～2020年の過去10年平均

※2 調査：スマホアプリ「ウェザーニュース」にて「今年の花粉症、症状が出た時期はどう？」と質問し(選択肢：“早かった”“例年通り”“遅かった”“花粉症ではない”)、“花粉症ではない”の回答を除いて集計。(調査期間：2021年3月31日～4月1日、回答数：6,211)

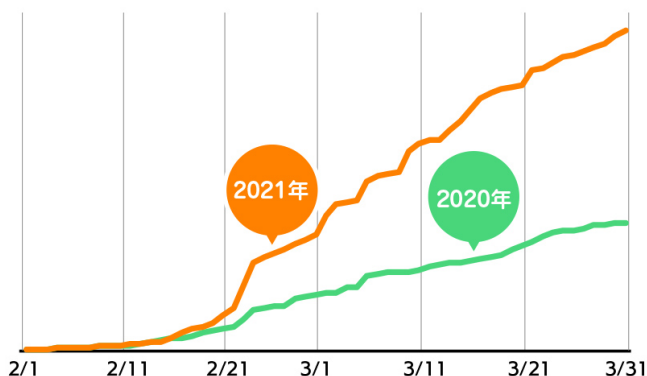
<飛散量:昨年比3倍近くで大幅増、花粉症の症状もつらい傾向>

ウェザーニューズ独自の花粉観測機「ポールンロボ」による観測では、3月末までの全国の花粉飛散量は昨年の3倍近くとなりました。北日本の一部を除いて昨年よりも大幅に飛散量が増え、多い所では飛散量が昨年の5倍以上に達したところもあります。

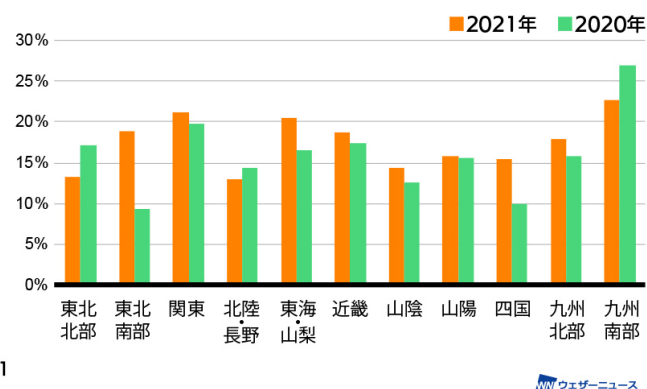
花粉の飛散量は主に前年の夏の日照時間と年ごとの飛散量の増減傾向に左右されます。昨年夏の気温は全国的に高かったものの、長梅雨の影響で日照時間は平年並～少ない水準となり、雄花の生長にはやや不向きな夏となったと考えられます。ただ、北日本の一部を除いて昨年の飛散量が著しく少なかったため、その反動で飛散量は昨年比で大幅な増加となりました。

花粉症の症状のつらさはどうだったのか、スマホアプリ「ウェザーニュース」のユーザーから寄せられる症状報告を分析しました。その結果、花粉症の症状がつらいと感じている方の割合が昨年より増えたエリアが多くなりました。特に東北南部や四国では、昨年との違いが顕著です。今年は飛散量が昨年よりも大幅に増加したため、症状もつらい傾向になったと考えられます。

花粉飛散量の累計 **東京都**



花粉症の症状がつらい人の割合



※ 花粉飛散量の累計:花粉観測機「ポールンロボ」の観測データを集計

※ 症状がつらい人の割合:スマホアプリ「ウェザーニュース」の『花粉 Ch.』に 2021年2月1日～3月31日までに花粉症のユーザーから寄せられた症状報告(のべ86,453通)のうち、“非常につらい”“つらい”の回答を合計し、割合で表示

◆ 都道府県ごとの花粉飛散時期

都道府県	2021年			平年(2011年～2020年の平均)		
	花粉シーズン 開始日	本格花粉シーズン 開始日	花粉シーズン 終了日	花粉シーズン 開始日	本格花粉シーズン 開始日	花粉シーズン 終了日
北海道	4月中旬	4月下旬	6月上旬	4/27	5/4	6/14
青森県	3/1	3/4	5月上旬	3/9	3/18	5/9
岩手県	2/25	3/1	5月上旬	3/4	3/14	5/10
秋田県	3/1	3/5	5月上旬	3/9	3/18	5/9
宮城県	2/20	2/22	5月上旬	2/24	3/5	5/8
山形県	2/21	3/4	5月上旬	3/1	3/8	5/7
福島県	2/14	2/22	5月上旬	2/23	3/3	5/9
茨城県	2/13	2/15	4月下旬	2/5	2/19	5/9
栃木県	2/13	2/15	4月下旬	2/7	2/21	5/9
群馬県	2/13	2/15	4月下旬	2/6	2/19	5/9
埼玉県	2/12	2/14	4月下旬	2/5	2/19	5/9
千葉県	2/7	2/14	4月下旬	2/6	2/20	5/8
東京都	2/7	2/14	4月下旬	2/4	2/21	5/9
神奈川県	2/7	2/13	4月下旬	2/5	2/20	5/9
新潟県	2/20	2/21	4月下旬	2/27	3/5	5/7
富山県	2/20	2/21	4月下旬	2/24	3/2	5/6
石川県	2/20	2/21	4月下旬	2/23	3/1	5/6
福井県	2/20	2/21	4月下旬	2/23	2/28	5/5
長野県	2/14	2/20	5月上旬	2/22	3/2	5/12
山梨県	2/12	2/14	4月下旬	2/11	2/23	5/9
静岡県	2/3	2/14	4月下旬	2/8	2/19	5/8
愛知県	2/14	2/15	4月下旬	2/15	2/24	5/7
岐阜県	2/14	2/16	5月上旬	2/20	2/26	5/11
三重県	2/6	2/14	4月下旬	2/15	2/23	5/6
滋賀県	2/13	2/15	4月下旬	2/21	2/28	5/6
京都府	2/13	2/15	4月下旬	2/21	2/28	5/6
大阪府	2/12	2/14	4月下旬	2/20	2/27	5/5
兵庫県	2/12	2/15	4月下旬	2/19	2/27	5/7
奈良県	2/12	2/15	4月下旬	2/19	2/26	5/7
和歌山県	2/5	2/12	4月下旬	2/15	2/24	5/5
岡山県	2/13	2/15	4月下旬	2/20	2/26	5/5
広島県	2/12	2/13	4月下旬	2/19	2/25	5/4
山口県	2/5	2/7	4月中旬	2/14	2/20	5/1
鳥取県	2/6	2/13	4月下旬	2/19	2/26	5/3
島根県	2/5	2/13	4月下旬	2/19	2/26	5/3
徳島県	2/11	2/12	4月下旬	2/17	2/22	5/3
香川県	2/11	2/12	4月下旬	2/17	2/24	5/4
愛媛県	2/6	2/12	4月下旬	2/15	2/21	5/3
高知県	2/7	2/15	4月下旬	2/16	2/23	5/3
福岡県	2/1	2/7	4月中旬	2/12	2/20	4/29
佐賀県	2/7	2/12	4月中旬	2/15	2/20	4/30
長崎県	2/1	2/7	4月中旬	2/12	2/20	4/29
大分県	2/4	2/8	4月中旬	2/12	2/21	4/30
熊本県	2/7	2/8	4月中旬	2/15	2/20	4/30
宮崎県	2/6	2/8	4月中旬	2/11	2/21	5/1
鹿児島県	2/7	2/8	4月中旬	2/12	2/21	5/1

※花粉シーズンの定義:花粉観測機「ポールンロボ」の観測に加え、ユーザーからの症状報告を加味

花粉シーズン開始:3割以上のポールンロボが1日10個以上の花粉を観測。症状が重い人、敏感な人に症状が出始める目安

本格花粉シーズン開始:3割以上のポールンロボが1日30個以上の花粉を観測。花粉症の多くの人に症状が出始める目安

花粉シーズン終了:7割以上のポールンロボが1日10個以下の花粉を観測

◆ 都道府県ごとの花粉飛散量と症状報告

都道府県	2/1～3/31 の花粉飛散量 2020 年比 (%)	2/1～3/31 のつらい症状報告の割合	
		2021 年 (%)	2020 年 (%)
北海道	-	-	-
青森県	89%	17%	21%
岩手県	97%	14%	17%
秋田県	107%	6%	10%
宮城県	344%	21%	11%
山形県	270%	24%	12%
福島県	399%	15%	7%
茨城県	300%	17%	20%
栃木県	413%	23%	19%
群馬県	321%	21%	15%
埼玉県	253%	26%	25%
千葉県	256%	18%	16%
東京都	258%	20%	18%
神奈川県	247%	21%	22%
新潟県	227%	16%	11%
富山県	211%	10%	11%
石川県	189%	11%	22%
福井県	183%	6%	5%
長野県	317%	14%	17%
山梨県	308%	33%	35%
静岡県	232%	21%	18%
愛知県	328%	19%	13%
岐阜県	412%	21%	17%
三重県	325%	18%	18%
滋賀県	378%	16%	26%
京都府	354%	18%	20%
大阪府	322%	20%	17%
兵庫県	271%	20%	21%
奈良県	332%	15%	11%
和歌山県	275%	14%	10%
岡山県	267%	12%	12%
広島県	363%	18%	18%
山口県	269%	15%	20%
鳥取県	351%	11%	8%
島根県	298%	16%	17%
徳島県	433%	27%	20%
香川県	414%	9%	14%
愛媛県	511%	15%	6%
高知県	441%	12%	5%
福岡県	385%	18%	18%
佐賀県	240%	24%	15%
長崎県	328%	28%	16%
大分県	381%	16%	3%
熊本県	365%	15%	5%
宮崎県	303%	18%	28%
鹿児島県	243%	26%	26%
全国	287%	20%	18%